

「ことばが堪能でない」と創造的交流はできないのか」

秋田県仙北市西木町の農家民泊事業者は、留学生の受入れをたびたび行っているが、外国語が堪能というわけではない。にもかかわらず、相互に認識を更新し合うような創造的な交流を図ってきた。創造的な交流にとって何が必要なのだろうか。聴衆とともに実際の事例を検討し、そのことが言語教育にもたらす意味を考えたい。

また、講演者がなぜこの農家民泊事業者の例に強い関心をもったのか、その理由も紹介する。研究者の個人的な経験・生活と研究テーマのむすびつき、そうした研究が個人を越え普遍的な課題解決へとつながる可能性について議論する。

【講師プロフィール】

関西学院大学総合政策学部

牲川波都季（せがわ はづき）准教授

早稲田大学大学院日本語教育研究科修了，博士（日本語教育学）。早稲田大学日本語研究教育センター助手，ホープカレッジ現代古典言語学部客員助教，秋田大学国際交流センター准教授などを経て，現職。専門は，言語表現教育，日本語教育，言語ナショナリズム。

主著は、『わたしを語ることばを求めて——表現することへの希望』（三省堂，2004，細川英雄との共著），『戦後日本語教育学とナショナリズム——「思考様式言説」に見る包摂と差異化の論理』

（くろしお出版，2012）。最近の主要論文は，「「よい予感がする」表現教育——2日間のクラスが残したもの」（細川英雄，鄭京姫編『私はどのような教育実践をめざすのか——言語教育とアイデンティティ』春風社，2013），「留学生農家民泊活動報告：農家民泊5年間——秋田県仙北市西木町にて」（『秋田大学国際交流センター紀要』3，2014）など。



【開催日時】

2016年2月13日（土）16:10～17:40

【開催場所】

関西学院大学 大阪梅田キャンパス 13F 10号室

住所：大阪市北区茶屋町 19-19 アプローチタワー

阪急「梅田駅」茶屋町口改札口より 北へ徒歩5分。

JR「大阪駅」御堂筋出口から徒歩10分、地下鉄御堂筋線「梅田駅」から徒歩7分、「中津駅」から徒歩4分。

【参加について】

事前申し込み不要・参加費無料

お問い合わせ(担当：掛橋) kakehashi@kwansei.ac.jp